

KPI・目標設定支援

特定したマテリアルなESG課題に対する取組みが有効に進捗しているかを把握するためには、管理指標(KPI)を設定することが必要です。また、マテリアルなESG課題に対する取組みを強力に推進するために、そのKPIで管理できる、社内外のステークホルダーにとって納得感のある水準の目標を設定し、その目標達成に向けた活動が行われることが重要です。

KPI・目標設定は社内の経営管理上必要ですが、同様に社外からもその設定が期待されています。ESG評価機関は企業のESG経営に係るPDCAサイクルが機能しているかを確認するための評価視点として、KPI・目標設定がなされているかを評価項目として含めていることが多くあります。

また、特に温室効果ガス排出量については、Science Based Targets (SBT) (科学的根拠に基づく目標)の設定が期待されており、高い水準の排出削減目標はますます強く求められる傾向にあります。

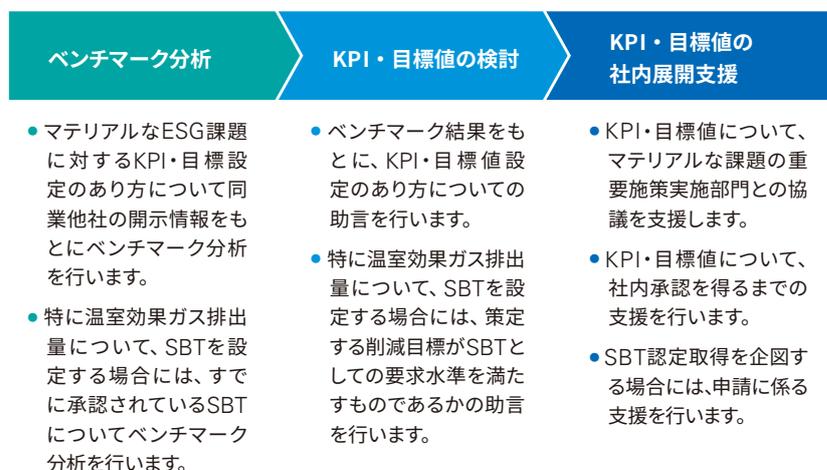
サステナビリティ報告の進展により、自社のマテリアルなESG課題を特定しこれを報告する企業は増加傾向にあります。しかし、マテリアルなESG課題への取組みが進捗しているかを、KPIや設定した目標に対する進捗状況の開示により有効に伝達している企業は今後の増加が期待されます。



KPMGあずさサステナビリティによる支援

KPMGあずさサステナビリティは、国内外のサステナビリティ情報の開示のためのさまざまな基準や枠組みに対する深い理解と、企業のサステナビリティ情報に対する第三者保証業務、並びにESG評価対応支援等の豊富な経験を通じて蓄積した、企業の実務上の課題やベストプラクティスの知見に基づき、KPI・目標設定を支援します。

KPI・目標設定支援のステップ



KPMGあずさサステナビリティによる支援の特長

企業が特定するマテリアルなESG課題は一律ではなく、それに応じて設定されるべきKPI・目標設定も企業によってさまざまです。特に企業の業種や操業国によっても設定されるべきKPI・目標値は異なります。

KPMGあずさサステナビリティの支援の特長は、企業によって異なるマテリアルなESG課題・業種・操業国等をもとに、多面的な視点から、企業の実情に合ったKPI・目標設定を支援する点にあります。

このような支援を可能としているのは、KPMGのネットワークを活用した国内外のサステナビリティ情報開示の基準や枠組みの深い理解に加え、サステナビリティ情報に対する第三者保証やESG評価への対応に係る豊富な経験です。KPMGあずさサステナビリティは、多くの企業のKPI・目標設定に関する豊富な知見と、それに基づく個々の企業への支援の提供実績に基づいて、企業の特性に応じたKPI・目標設定を支援します。

KPMGあずさサステナビリティ株式会社

home.kpmg/jp/sus

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGあずさサステナビリティ株式会社までお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供しよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2020 KPMG AZSA Sustainability Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. Printed in Japan. 20-5017

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.